

## 熊本地震から10年メモリアル防災セミナーを開催

～熊本地震から10年を迎えて、地震への「備え」の再確認を促す～

日本損害保険協会九州・沖縄支部 熊本損保会(会長：阪田 浩 三井住友海上火災保険株式会社 熊本支店長)では、熊本地震から10年の節目を迎えるにあたって、改めて地震への「備え」を再確認いただくために、2月6日(金)に熊本市で熊本県損害保険代理業協会とともにセミナーを開催し、約50名の方にご参加いただきました。

開会に際し、当支部 熊本損保会 阪田会長から、「近年は、全国各地で台風や豪雨による風水害が頻発し、改めてわが国が抱える自然災害リスクの大きさを痛感しており、このような環境下において当業界はこれまで以上に、本来の役割を発揮しなければならないと感じています。熊本地震から10年を迎える今、震災当時を振り返り、防災・減災について、地震保険を含めた経済的な『備え』を確認する機会としてほしいと思います。」との挨拶がありました。

第一部では熊本日日新聞社編集局 石貫 謹也次長から「熊本地震における地元紙の向き合い方」をテーマに講演がありました。同講演では、被災後の報道の仕方や留意点などが説明されたうえで、被災者目線で役に立つ情報を届けるという役割に注力したい、また、次の災害が起きた場合にひとりでも多くの命を守るきっかけとしたいとお話がありました。

第二部では財務省大臣官房信用機構課 大森 枝里課長補佐から「地震保険制度～被災後の生活に備える地震保険～」をテーマに講演がありました。地震保険の商品内容をはじめ、地震保険制度創設の背景、加入状況に加えて、地震保険は生活再建を支える経済的な「備え」であること、官民共同の保険制度であることについて説明がありました。

閉会に際し、熊本損害保険代理業協会 廣重 真会長から、「損害保険は社会のインフラ機能を担うものであり、特に地震保険は官民共同の保険でもあるため、さらに損害保険のリテラシー教育の重要性が増していると思う。引き続き普及に努めていきたい。」との挨拶がありました。

当支部では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクを的確に認識いただくとともに、地震保険を含めた防災・減災に関する知識の普及・啓発活動を行ってまいります。

### ◆セミナー概要

○改札日時 2026年2月6日(金) 14:00～16:00

○開催場所 くまもと森都心プラザAB会議室

○参加費 無料

○講演内容

#### 第一部

テーマ：「熊本地震における地元紙の向き合い方」

講師：株式会社 熊本日日新聞社

編集局次長 石貫 謹也 氏

#### 第二部

テーマ：「地震保険制度 ～被災後の生活に備える地震保険～」

講師：財務省大臣官房信用機構課

課長補佐 大森 枝里 氏

○主催 一般社団法人 日本損害保険協会九州・沖縄支部 熊本損保会

一般社団法人 熊本県損害保険代理業協会



阪田会長の開会挨拶



石貫氏による講演



大森氏による講演



廣重会長の閉会挨拶



会場の様子